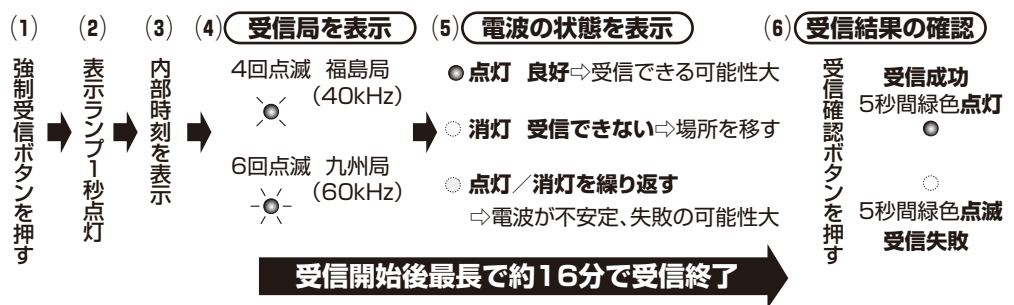


各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際と異なることがあります。



標準電波一受信の流れとサーチ機能



電波サーチ機能の使いかた……………受信しやすい所を探すには

- 窓際やベランダで(5)まで行い、表示ランプが点灯していることを確認します。
表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
- 時計を掛けたい所に移動して、受信状態を表示ランプで見ます。
※受信ランプが消灯したときは、同じ部屋の中でも、電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ……………受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

電波を受信できないときや任意の時刻に合わせてときには、時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

操作

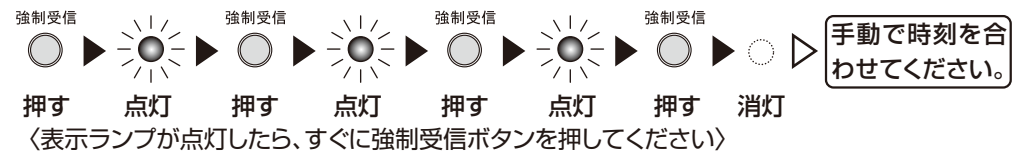
- 時刻合わせボタンを操作するときには、針が10秒に1回動いているときに操作してください。
- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
 - 時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。
- 時刻合わせボタンを離れたときにゼロ秒からスタートします。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能をOFFにするには(電波を受信しない)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



電波受信機能をONにするには(電波を定期的に受信する)

工場を出荷するときには電波受信機能はON(有効)になっています。
OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後に必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

- ※この説明文中で「押し」は、「押し、すぐ離す」ことです。
- ※電池を取り出しても設定を長期間保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

静電気の影響について

静電気により正常に機能しないことがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

使用方法

この時計は時刻を合わせて出荷しております。

標準電波を利用しないで、時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

◎ご使用場所の明るさを事前に確認してください。「ソーラー発電と補助電池」参照。

- ① **スタートスイッチをONにする**
- ② **強制受信ボタンを押す……標準電波一受信の流れとサーチ機能**
表示ランプが点灯して受信を開始します。
針は早送りで動き、およそ3分で時刻を表示します。
※早送りの途中で一時停止することがあります。
※受信中は、ボタン操作をしないでください。
- ③ **時計の掛けかた** に従って時計を確実に掛ける
- ④ **受信開始から16分後に、受信確認ボタンを押して受信結果を確認する**
受信成功: 5秒間緑色点灯
受信失敗: 5秒間緑色点滅
受信に失敗したときは、電波サーチ機能で受信する所を探るか、**標準電波を受信できない場合**を参照してください。
※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
※受信確認ボタンを押すと、24~25時間以内の受信結果を表示します。

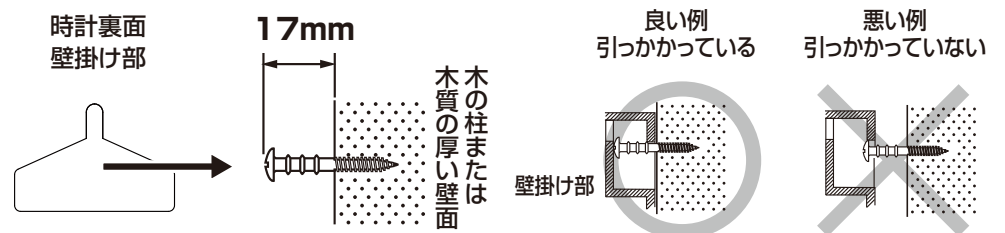
時計の掛けかた

⚠ **注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

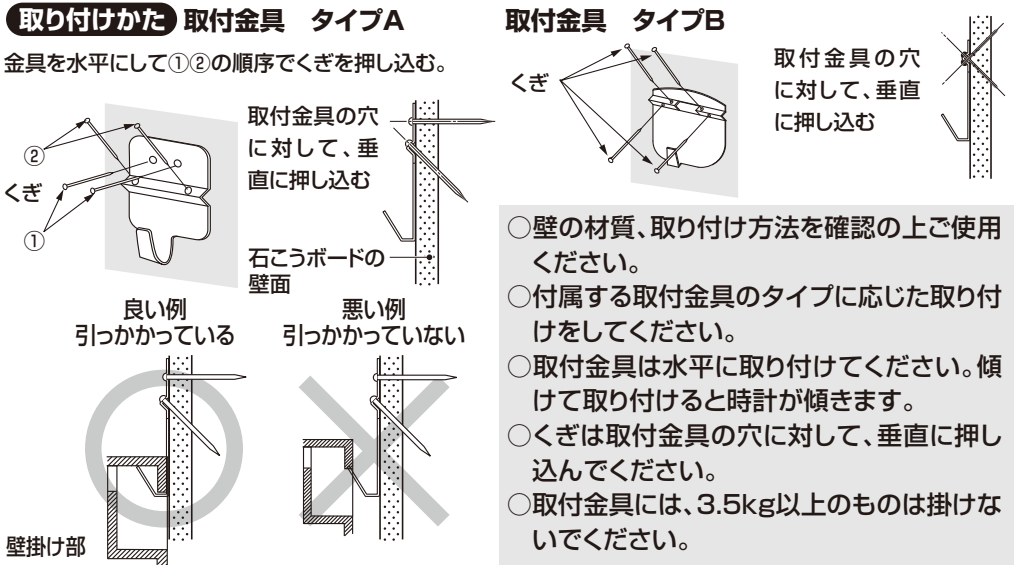
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図のとおり、付属のくぎ4本でしっかり固定してください。



その他の壁面の場合

- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電池の交換について

次のようなときには、補助電池のリチウムコイン電池を交換してください。
○電波受信機能がONなのに、強制受信ボタンを押しても、表示ランプが点灯しない。
補助電池の交換が必要な状態のときは、電波の受信を行いません。

⚠ **注意** 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても最長10年までに交換する。

交換の手順

- 電池ぶたを取り外すとき
電池ぶたの▲印をCLOSEの・印からOPENの・印まで回転する。
- 電池ぶたを取り付けるとき
電池ぶたの▲印をOPENの・印に合わせてからCLOSEの・印まで回転する。
- ①未使用の新しいリチウムコイン電池CR2032を1個ご用意ください。
 - ②スタートスイッチをOFFにします。
 - ③電池ぶたをメダルなどで左に回して、電池ぶたを取り外します。
 - ④電池を取り出します。
 - ⑤電池の+表示を上に向けて、斜めに入れます。
 - ⑥電池ぶたを右に回して締めます。
 - ⑦スタートスイッチをONにします。
 - ⑧窓際など電波の受信しやすい所で強制受信ボタンを押して、標準電波の受信を開始させてください。



電池の種類について

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。

電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度など使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。